
てのひら子ども園 第三者評価結果報告書

令和2年度（2020年度）

機構 02-030 特定非営利活動法人 NPO サービス評価機構

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和2年度】

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 166-0004

所在地 東京都杉並区阿佐谷南3-35-15-1104

評価機関名 特定非営利活動法人NPOサービス評価機構

認証評価機関番号

機構 02 - 030

電話番号 03-5347-0616

代表者氏名 理事長 大森裕美



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	大森裕美	経営	H0201035
	②	横尾澄子	福祉	H1401004
	③	大森春樹	福祉	H1501022
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認証保育所A型・B型			
評価対象事業所名称	てのひらこども園			
事業所連絡先	〒	121-0836		
	所在地	東京都足立区入谷1丁目27番15号		
	TEL	03-6803-1831		
事業所代表者氏名	園長 吉武 純子			
契約日	2020年 9月 29日			
利用者調査票配付日(実施日)	2020年 12月 7日			
利用者調査結果報告日	2021年 1月 20日			
自己評価の調査票配付日	2020年 12月 1日			
自己評価結果報告日	2021年 1月 20日			
訪問調査日	2021年 1月 27日			
評価合議日	2021年 1月 27日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	評価員は毎朝の自宅および施設到着時の検温や手指消毒、マスク着用、窓を開けての換気など、感染対策を十分におこない、調査を実施した。利用者調査において、回収率を高めるためにご協力依頼のポスターを園内に掲示してもらった。訪問調査実施後、評価員3名の合議を経て、報告書を完成させた。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

目次

1.理念・方針、期待する職員像.....	1
2.利用者調査.....	2
3.組織マネジメント項目.....	5
4.サービス提供のプロセス項目	13
5.サービスの実施項目.....	18
6.事業者が特に力を入れている取り組み.....	23
7.全体の評価講評.....	24

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)職員のワーク・ライフ・バランスを大切にする。 2)利用者のワーク・ライフ・バランスを大切にする。 3)子どもの人権・自立心を尊重した保育をする。 4)児童の健全な発育を支援するため、保護者と十分な連携を図り「共育て」をする。 5)チームワークを大切にして「お互い様」の助け合いができる職場づくりをする。</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>・より良い保育を行うには、チームワークと向上心が欠かせないと思う。「自身が利用したくなる保育園」づくりを目指している。それは、利用者の立場からすると、信頼できる保育内容で子育てを支えてくれ、なんでも相談できて預けて安心な保育園づくりであると考えている。</p> <p>・採用時に明示しているのは以下の3項目である。</p> <p>1. 保育に熱意のある方。特に「寄り添い・見守る保育」を志す方 2. チーム保育を心がける方 3. ワーク・ライフ・バランス に関心のある方。</p> <p>その他に、就業規則の服務規定と目標管理制度や給料への職務評価加算制度を説明している。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>・まずは、社会人として利用者から信頼されることである。そのうえで「保育士」「調理師」「事務」などその職務をより高い品質で提供できるように、努力できる人である。具体的には、目標管理で振り返りを行うほか、昨年度から職務評価加算制度を導入し、仕事を頑張った人が給与に反映される制度を実施している。「てのひら」の職員であることに、誇りをもって働き続けてもらいたい。</p>

調査対象

令和2年12月時点で利用している在園児25名の保護者21世帯を対象とし、1世帯1回答のご回答をいただきました。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただきました。

利用者総数	25
利用者家族総数(世帯)	21
共通評価項目による調査対象者数	21
共通評価項目による調査の有効回答者数	20
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	95.2

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者：「父」1名(5%)、「母」16名(80%)、「父母一緒に」2名(10%)、無記入1名(5%)。調査票記入者の年齢：「20歳代」1名(5%)、「30歳代」15名(75%)、「40歳代」3名(15%)、無記入1名(5%)。
 ・総合的な感想は「大変満足」16名(80%)、「満足」4名(20%)で、回答者全員が「大変満足」「満足」と返答しており、当園の保育に対して非常に高い満足を得ている。
 ・自由記述では、「園長先生はじめ先生方がとても親切で丁寧な対応をしてくれるので、安心して子どもを預けることができる」「小規模でアットホームな雰囲気のある園で、先生方の目がよく行き届いている」「日頃から子どもの気持ちに寄り添い、一人ひとりをよく見て接してくれている」などのコメントが寄せられた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	20	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答し、子どもの心身の発達に役立つ活動について非常に高い満足を得ている。「手遊びや歌など、園で習ったことを家でよく繰り返している」「年齢の異なる園児たちとも一緒に遊べるのが、良い刺激になっているようだ」「公園などで、身体をたくさん動かして遊んでいるようで、体力がついてきたことを実感している」などのコメントが寄せられた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	20	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答し、子どもの興味や関心に役立つ活動について非常に高い満足を得ている。「粘土や工作など、手先を使った活動も積極的にしてくれる」「工作が好きなので、毎日いろいろなものを作成している」「先生たちが家から空箱などをもってきてくれたり、工夫しながら対応してくれるのもありがたい」などのコメントが寄せられた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	20	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答し、食事に関して非常に高い満足を得ている。「栄養のバランスもしっかりしていて、子どもがよく食べられるので満足している」「連絡帳を利用し写真付きで献立を教えてください」「出汁を一から取るなど、手作りの美味しい食事が提供されている」「野菜を食べなかつた子どもが、園に通うようになってから食べるようになった」「好き嫌いをなく食べられるよう工夫している」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	20	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答し、戸外遊びに関して非常に高い満足を得ている。「毎日2回、公園遊びに出かけて太陽の光をいっぱい浴び、元気に遊んでいる」「外遊びが多いので、子どもも楽しんでいる」「園周辺のいろいろな公園に出かけ、公園遊びや自然と触れ合う機会がたくさんある」「四季を全身で感じながらのびのび育っている」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	16	1	0	3
回答者の80%が「はい」と返答し、保育時間の変更への柔軟な対応に関して高い満足を得ている。「仕事の都合での延長に対し、電話対応も快く受けてくれた」「仕事を抱える親にとって、負担の軽い適切な方法を提案してくれるので助かる」「こちらが、まだ気を遣ってしまうようなこともあるが、快く対応してくれるので助かっている」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	20	0	0	0
回答者の90%が「はい」と返答し、安全対策の取り組みに関して非常に高い満足を得ている。「指挟みを防止するなど、細かな対策が取られており安心している」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	20	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答し、行事日程の設定に関して非常に高い満足を得ている。「行事は土曜日開催とするなど配慮してくれる」「コロナ禍で参加できないイベントが多い中、消毒、マスク着用、換気などに気を遣い、楽しく園のイベントに参加することができた」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	19	1	0	0
回答者の95%が「はい」と返答し、家庭と園との信頼関係に関して非常に高い満足を得ている。「定期的に面談があり、相談事も安心して話すことができる」「家庭で困ったことを連絡帳に記載したとき、担当の先生から適切なアドバイスを受けた」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	20	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答し、施設内の清掃、整理整頓に関して非常に高い満足を得ている。「コロナ禍の影響で園内に入る機会が少ないが、とても清潔だと思う」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	20	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答し、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	19	1	0	0
回答者の95%が「はい」と返答し、緊急時の対応に関して非常に高い満足を得ている。「定期的な検温などで体調管理もしてくれている」「ケガをしたときは、すぐに電話連絡をしてくれる。適切な処置をしてくれるので安心できる」「小さなケガでも見逃さず、必ず先生から電話連絡があり説明してくれる」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	16	4	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、子ども同士のトラブル対応に関して高い満足を得ている。「先生を信頼しているので大丈夫だと思う」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	19	1	0	0
回答者の95%が「はい」と返答し、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「子どもの気持ちを尊重し、しっかり受け止めてくれていると感じる」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	20	0	0	0
回答者全員が「はい」と返答し、プライバシー保護に関して非常に高い満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	19	1	0	0
回答者の95%が「はい」と返答し、保育内容の説明に関して非常に高い満足を得ている。「写真付きの連絡帳で、毎日子どもの様子をとても詳しく伝えてくれる」「些細なことにも気づいてくれる内容であり、祖父母もそれを見るのを楽しみにしている」「毎日、連絡帳で子どもの様子を詳しく伝えてくれるので、安心して子どもを預けることができる」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	18	1	0	1
回答者の90%が「はい」と返答し、利用者の不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	9	6	1	4
「はい」と返答した方々は回答者の45%、「どちらともいえない」30%、「いいえ」5%、「わからない」20%である。「園以外の機関に相談するような状況になったことがないので、そのときにならないとわからない」などのコメントが寄せられた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目		
1	カテゴリー1		
	サブカテゴリー1(1-1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/> 非該当	
カテゴリー1の講評			
<p>ホームページに法人理念は載せ、職員・保護者ともに説明し、理解浸透を図っている</p> <p>理事長が「ワーク・ライフ・バランス」「男女共同参画」「児童福祉」に対する思いをもって始めた保育事業であり、ホームページに「当法人は、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を目指し、女性の就労と男性の家事育児参加を応援しています」と明記し、園のビジョンを広く伝えている。また、理事長の思いを職員の採用時や年度初めの研修などで具体的にわかりやすく伝えている。就業規則の冒頭にも法人の理念を明記し、入職時の就業規則を配付・説明を通して、その理解浸透を図っている。</p> <p>理事長が毎年2月末の職員会議で次年度の課題や方向性について説明している</p> <p>毎年、2月末の職員会議において、理事長自らが該当年度の経営状況と翌年度の課題について説明している。また、その時、理事長自らが自らの役割と共に各職員の配置などを伝え、職員個々が自分の役割と責任を意識して日々の保育・業務にあたるようにしている。また、事業計画書にも職位職種ごとの職務内容を明記している。毎月の給与明細書を渡す日に理事長が職員個々と面談し、仕事の状況などを把握し、課題について検討し、方向性を見出し、前向きに仕事に励むようサポートしている。</p> <p>毎月1回の職員会議で法人の決定事項について周知している</p> <p>重要案件が起きた時は、理事長に報告・相談し、判断を仰ぐ、その次に、理事長・園長・主任・事務局長が参加するリーダー会議で検討し、理事会に諮り、最終決定としている。法人の決定事項は、毎月1回の職員会議で報告されている。職員会議には非常勤職員も含めた全職員を参加対象とし、不参加の人には、園長・主任が口頭で説明している。また、議事録を配布し、情報共有の徹底に努めている。重要な案件は、非常勤職員も含めて一斉メールを送信している。</p>			

カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>保護者ニーズや職員の意見などを事業運営に活かしている</p> <p>保護者アンケートを実施し、保護者のニーズを把握している。その集計結果と共に、保護者の意見や、各設問内容の園の取り組みの現状も書面にまとめ、保護者全員に配布・フィードバックしている。「掲示物は見やすいか」との設問もあり、職員の意見を受け、見やすい場所に掲示するなど、解決できることはすぐに実践に移している。今後も、同じ設問内容のアンケートを実施し、その経年変化もみて、運営改善に活かす予定である。他方、月1回の職員会議や、月1回の理事長と職員との面談などを通して、職員の意見を事業運営に活かそうとしている。</p> <p>「足立区小規模保育事業者連絡会」などから地域の園運営に関する情報を収集している</p> <p>保育行政に関する情報を区から入手している。近隣の保育園・幼稚園と連携し、地域の子どもに関わる状況について情報収集している。区の「子育て支援専門部会」や「足立区小規模保育事業者連絡会」に参画し、区の子育てニーズや、区内小規模保育事業所の現状などについて情報収集している。そのほか、区や外部団体主催の研修などにも参加し、事業運営に必要な情報を収集している。これらの収集した情報を、事業運営に活かしている。</p> <p>法人の経営方針を定め、園を取り巻く課題をふまえ、事業計画書を作成している</p> <p>法人の経営方針を定め、園を取り巻く課題をふまえ、事業計画書を作成している。令和2年度事業計画書には、今年度の運営方針を明記し、それに沿って職員配置、保育指導計画、保護者支援、家庭連絡方法、保健衛生、防災安全、給食、年間行事および教育プログラム、年間会議などの取り組みを記載し、計画に沿って実施している。さらに職員個々が「目標管理・自己評価シート」に該当年度の取り組み目標、達成状況を記載しており、組織一丸となって、園目標の達成に取り組んでいる。</p>		

3 経営における社会的責任			サブカテゴリ-1(3-1)	サブカテゴリ-2(3-2)	サブカテゴリ-3(3-3)
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる			評点(〇〇)		
評価	標準項目				
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる				<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。				<input type="radio"/> 非該当
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4	
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている			評点(〇〇)		
評価	標準項目				
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている				<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある				<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている			評点(〇〇)		
評価	標準項目				
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している				<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている				<input type="radio"/> 非該当
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5	
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる			評点(〇〇)		
評価	標準項目				
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる				<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している				<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー3の講評		
入職時に理事長が就業規則に掲げている服務規律について説明している 入職時に理事長が就業規則に掲げている服務規律について説明している。「目標管理・自己評価シート」にも組織として・チームワークなどの項目があり、職員個々への意識づけを図っている。年度初めの職員研修でチームとして支え合う「お互い様」の精神を伝え、「同僚への人権の配慮」について説明している。さらに、就業規則に同僚への侮蔑は賞罰の対象とすることを追記した。また、「児童の権利」を確認し、「名前を呼び捨てにしない」「後ろから抱き上げるときは声をかける」などについて確認合っている。		
「重要契約事項説明書」を使って、入園時に保護者に説明している 「保育の案内～重要契約事項説明書～」に苦情対応について明記し、入園時に保護者に説明している。苦情解決制度について園の玄関に掲示し、保護者に周知している。より良い保育園を目指すため、「意見・要望・苦情」は保護者のありがたい提案の切っ掛けだと考え、保護者の意見・要望・苦情を大切にすることとしている。また、保護者の連絡長を使って、意見や要望、苦情を把握し、気になるときは顔を合わせ個別に対応している		
地域の保育施設や幼児教育施設、小学校、高齢者施設と連携している 「小中高生保育ボランティア受入規程」を整備しているが、新型コロナ禍により、受け入れを中止としている。地域の保育施設や幼児教育施設、小学校、高齢者施設と連携したり、入学式・卒業式・運動会・発表会に参加するなど、地域との協働に努めている。区のパークリノベーション会議などに参画し、区の公園施策に貢献している。理事長が「足立区小規模保育事業者連絡会」の会長職を担い、会全体の要望を足立区や区議会に届けるなど、小規模保育所全体への運営に貢献している。		
カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	
カテゴリ-4の講評		
<p>毎月1回、園児も参加した避難訓練を実施し、災害時に備えている</p> <p>消防計画、年間消火・避難訓練、水害等避難計画を作成し、月1回、火事や地震、大雨・洪水を想定し、園児も参加した避難訓練を実施し、災害時に備えている。AEDの操作訓練も実施している。年1回、不審者訓練も実施し、園舎内の安全点検は、日々の保育の中や、清掃担当者から報告し、できることはすぐに解決している。事業継続計画(BCP)を策定し、職員間で確認している。「災害ケース別職員行動マニュアル」を作成し、毎日の散歩中に地震にあった場合や、園外保育の日に地震にあった時などに職員のとるべき行動を示している。</p> <p>毎年の全職員参加の研修で、事故対応について学んでいる</p> <p>「事故発生時のためのガイドライン」などを作成している。事故報告は、「事故簿」に記録している。軽微なリスクをヒヤリハットとして記載し、要因・対応について検討し事故予防に役立てている。年1回、全職員対象にリスクに関する研修をおこなっている。新型コロナ対策としては、職員の出勤前の検温・体調確認、園児・職員の家族全員の「健康観察記録」の作成、定期的な施設内の換気、手洗いの回数増やペーパータオルの活用、消毒スプレーの出入口の設置など入念な対策を講じている。保護者全員に適宜感染対策のお願いを配布している。</p> <p>個人情報保護規程を始め、マニュアルなども作成し、情報を運用管理している</p> <p>文書管理規程を作成し、各種記録の保管・破棄について定めている。保育に必要な園児状況票などの書類は事務室戸棚(施錠)に保管している。戸棚には必ず背表紙にファイル名を記している。「個人情報等の取り扱いについての基本方針」「特定個人情報等の取り扱いについての基本方針」「個人情報保護規程」「特定個人情報保護規程」「保育での個人情報取り扱いマニュアル」を作成し、これらに則り、個人情報の運用管理をおこなっている。保護者の入園時に誓約書を使って、写真の取り扱いに関する同意を取り交わしている。</p>		
カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	

評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー5の講評		
<p>職員採用では事前に保育の現場に入り、双方の納得を得て入職するようにしている</p> <p>より良い保育に向けて、保護者との共育を推進するために、保育内容を適切に保護者に伝えられることを職員に求めており、職員にも伝えている。人材募集は、ハローワークや折り込み広告を活用している。理事長が応募者への面接をおこなっている。面接前に実際の保育の現場に入ってもらい、その様子について園長の意見も聴き取り、入職に際しては双方の納得を得るようにしている。当園の開設時は、法人内他園の職員の異動により、必要な職員配置をおこなった。「業績評価表」などを使って、自己評価・上司評価などをおこない、処遇にも反映している。</p> <p>人材育成計画を策定し、全職員に研修受講の機会を確保している</p> <p>人材育成計画を策定し、計画的に職員の研修受講を実施している。理事長との面接により、将来の展望を確認している。東京都保育士キャリアアップ研修の中のマネジメント研修に順次職員を派遣し、運営意識の涵養に努めている。パート職員も対象とし、年間2回の全職員参加の園内研修・小規模保育所研修に参加している。希望に応じて、他機関主催の研修にも参加しており、勤務として取り扱っている。園長・主任候補者には「管理者研修」を、乳児保育の経験が少ない採用者には「乳児保育」の研修受講をすすめている。</p> <p>理事長との面接時に、勤務状況を確認し、有給休暇の取得をすすめるなどしている</p> <p>月1回の理事長との面接を通して職員個々の勤務状況を把握し、有給休暇の取得をすすめたり、職員個々のストレスチェックの結果を受け、業務量の見直し・変更などをおこない、就業環境の改善に努めている。時間休暇の付与もおこない、有給休暇の取得を推進している。がん検診休暇もすすめている。法人負担積立退職金制度も整えている。暑気払いや忘年会、歓送迎会などの職員交流会の費用を法人が負担している。職員アンケートでは「職員のチームワークが良好である」などのコメントが寄せられていた。</p>		

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリ1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ) 法人は小規模保育事業A型2園を運営しているが、就学前まで預かれる保育施設(東京都認証保育所)を開設し、3園が一体的に連携運営していくことを目標とし、2020年4月の当園の開設に向けて準備をおこなってきた。2019年3月足立区から施設整備事業者として選定された。2019年6月東京都の初回説明会対応、2019年9月オーナーと賃貸借契約締結、2019年10月内装工事について請負契約締結、2019年11月入園説明会・入園調整・保護者との契約締結、2019年12月内装工事開始、2020年2月内装完了・受け入れ準備・入園説明会・両親面接を実施した。また、前年度、法人内他園で職員の加配採用をおこない、2020年1月から当園配属予定の職員でプロジェクトチームをつくり、開設準備をおこなってきた。その結果、2020年4月に長年の課題であった当園を開園することができた。入念な開設準備により、チームワークで課題を乗り越え、安定した保育運営を実現できている。	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評 2020年4月に法人の長年の課題であった当園が開園し、これまで重大事故や苦情もなく安定した運営ができています。新型コロナの緊急事態宣言で、開園式・入園式はできず、4月・5月が臨時休園となり、6月になっても登園を自粛する保護者もいた。ほぼ全員が新入園児であるため、子ども達が安定するまで職員の手がかかるため、同一法人他園の職員の協力を得た。3園合同行事の「運動会」も、簡易版として近くの公園でおこない、他2園の保育園の保護者が、当園の幼児の取り組みを見て、これまでの法人の取り組みを評価してくれた。12月の「発表会」でも、保護者から高い満足感の感想をいただいている。	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

保護者との「共育」を理念に掲げており、まずは子どもの情報を共有することを大切に、法人では保育ICTシステムの連絡帳アプリを導入することにした。殆どの保育施設が「連絡帳は2歳児まで」としているが、3歳児でも4歳児でも、園であったことを上手く伝えるのが難しい児もいるため、「3～5歳児にも連絡帳アプリを使って、保護者に保育内容や子どもの様子を知ってもら」を目標とした。3歳以上の児の連絡帳アプリの書き方について検討した。担任の保育事務負担が過剰とならないかが心配だったが、職員が連絡帳アプリの記載に慣れてきたことや、写真添付を多くして様子を伝え、翌日の保護者からの連絡の中に「写真をありがとうございました。」という感謝の文書が多くあり、円滑な連絡帳アプリの活用ができています。しかし、職員の負担軽減も考慮し、さらなる工夫をし、職員体制も充実させていきたいと考えている。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

今年度の事業計画書にも、「連絡帳アプリを使って、保護者と交換する情報量を多くし、子どもの保育園での様子を十分伝えて、安心して預けられるようにしていく」ことを明記し、この実践に努めている。利用者調査では、「子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか」との設問において、回答者の95%が「はい」と返答していた。「連絡帳でも子どもの様子をしっかりと書いてくれたり、子育ての悩みや考えていることにも返事があるので助かっている」などのコメントがあり、連絡帳アプリを使っている保護者との情報共有が保護者との共育に効果を奏している。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所のサービス利用が困難な場合には、理由を説明したうえで、他の相談先紹介など支援の必要に応じた対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>園のホームページやブログなどで、園情報をわかりやすく提供している</p> <p>園のホームページでは園概要と特徴、保育年齢と定数、保育時間と保育料、一年の行事、パパ会・ママ会、教育プログラム、給食、散歩マップ、入園案内、問い合わせ先、アクセスといったメニューを用意し、クリックして詳細を知ることができるようにしている。ブログでも園の様子を発信して、利用者の求める情報をわかりやすく提供している。区のホームページや広報紙、子育て情報冊子「子育てガイドブック」などで、園名や住所、電話、定員などの情報を提供している。手のひらと太陽をイメージしたシンボルで、園名入りの看板を道路側に設置している。</p> <p>区の所管課や関係機関などと情報交換し、連携している</p> <p>本年4月開園したNPO法人立の認証保育所であり、区の所管課に児童数や職員関係の月報を提供している。区主催の認証保育所連絡会が年2回開催され、理事長と園長が今年はオンラインで参加し、行政からの情報提供や関係保育所間の情報交換をしている。区の子ども家庭支援センターからの情報提供を受けている。消防署には毎月の自衛消防訓練の報告書を提出している。AEDを導入して初年度であり、業者から使用方法等の指導を受けている。</p> <p>見学は電話で随時受け、施設見学をしてもらい、園の特徴などを説明している</p> <p>見学の問い合わせは電話で受け、その都度、個々に立ち合い、施設見学や説明をしている。リーフレットを配付し、園舎内を案内して、子どもたちの一日の流れを説明している。見学希望者は園のホームページを見て来ている人が多いので、話もよく理解してくれている。園の特徴として、連絡帳は保育ICTシステムを利用していることや地域には公園がたくさんあり散歩などで戸外遊びをよくしていること、講師によるリトミックや英語遊び、体操などを取り入れていることを話している。今年度の見学者は16組程である。</p>		

サブカテゴリ-2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園説明会を開催して重要事項や約束事、園で必要な持ち物などを説明している 11月の第2土曜日に入園説明会と施設見学会、個別相談会を実施している。入園説明会では「保育園のご案内(重要事項説明書)」を基に、園の保育理念や方針、園概要、保育の特徴、教育プログラム、保育計画、年間行事予定、用意してもらおう物などを説明するほか、契約の期間、年度途中で退園する場合の約束事、解約の条件については特に念を押して確認している。2月頃には再度保育の実施を確認の上、両親と子どもの面談を実施して契約書を交わしている。</p> <p>入園当初は1週間程度の慣れ保育を実施している 入園当初の慣れるまでの保育については、園の方針として初日から3日間は午前中保育で昼食まで、次の3日間は昼寝をした後午後のおやつまで、7日目からは平常保育にする旨を説明して了解を得ている。個々の子どもの様子により、不安が強く見られる場合は、個別対応することを伝えている。可能な限り同じ保育士が関わり、早めに園や保育士に慣れるように配慮し、迎えの保護者には子どもの様子を伝えて安心してもらえるようにしている。</p> <p>退園の際には、保護者の了解を得て就園先などに引き継ぎをすることになっている 本年4月開園であり、途中退園や卒園児はまだいない。2歳児までで退園して、他の保育園や幼稚園に通う場合には、保護者に了解をもらい、就園先に子どもの発達状況を文書で伝えて引き継ぎをすることになっている。また、引っ越しなどでやむを得ず退園する場合の約束事は入園時に確認しており、保護者には育児の不安や新しい育児環境に心配事はないかなど、相談に応じることにしている。</p>			

サブカテゴリー3		
3	個別状況に応じた支援方針作成・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3の講評		
<p>子どもの心身や生活状況等は連絡帳や保育日誌、児童表などに記載して把握している</p> <p>入園時に、囑託の園医による健康診断を実施して、子どもの健康状態を把握している。2月の両親子ども面接時には事前に配付して記入してもらった児童表や入園までの生活状況等の書類を基に聴き取りをして必要事項を確認、加筆してより詳細に子どもの情報を把握している。入園後は保育ICTシステムの連絡帳アプリで生活情報や様子を把握して保育し、日中の子どもの様子は連絡帳に入力して個別日誌にし、週日誌を記載している。児童表の子どもの発達経過記録は、1歳までは毎月、2歳児までは2か月ごと、3歳児からは3か月ごとに記載している。</p> <p>個別計画は職員同士で子どもの様子を振り返り、次月の計画を作成している</p> <p>全体的な計画を基に年齢ごとの年間指導計画を作成し、月ごとに個別計画を作成して、前月末の子どもの様子、今月のねらい、今週のねらいと配慮点を記載している。個別計画は、全職員が参加する月1回の保育計画検討会議で個々の子どもの様子を振り返り、次月のねらいや配慮すべき事項について意見を出し合い、共有している。保護者には、毎月の保育目標を伝えて、一緒に取り組んでもらっている。</p> <p>子どもの状況は月毎の保育計画検討会議で検討し、職員間で共有している</p> <p>月2回の職員会議は、園児の午睡時間を活用して実施し、保育計画検討と理事長・園長などからの情報提供などを行なっている。職員数も少ないので、子どもに関する情報の引き継ぎや申し送りなどは、口頭による連絡をしている。子どもの怪我や病氣、お迎えの人が変わるなど、職員間で共有する必要があると判断した情報は連絡ノートに記載して共有している。時には、連絡漏れを防ぐために、職員間のSNSなどによる情報共有もしている。</p>		

サブカテゴリ-5	
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている <input type="radio"/>非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている <input type="radio"/>非該当
サブカテゴリ-5の講評	
子どものプライバシー保護を徹底している 法人の個人情報保護規定や個人情報保護方針などを作成している。保護者には契約書や重要事項説明書で個人情報の取り扱いについて伝えている。写真の取り扱いについては自宅で楽しむものとするを誓約してもらい、写真の撮影、ブログへの掲示、ホームページの保護者ページへの掲示などの可否についても保護者の意向を確認し同意を得て使用している。また、子どもの羞恥心への配慮として、夏季の水遊びやプール遊びは園庭で実施し、シャワーやプールのテントを設置して、テントの脇もカーテンなどで外からは見えないようにしている。 子ども一人ひとりを大切に保育し、人権尊重を意識して保育を振り返っている 職員は、子どもの最善の利益の尊重や人権の尊重を意識しており、子どもの名前を呼び捨てにしない、子どもの顔を見て言葉のやり取りをする、丁寧な言葉で保育することなどは周知している。子どもの人権研修として「足立区教育・保育の質ガイドライン」を職員各自に配付して、項目ごとに読み合わせをし、自己評価の仕方などを説明している。説明後にはグループ討議を実施して、「～ような行為は」など保育の場面をお互いに出し合い、自分の保育を振り返る機会にしている。 日頃から子どもの様子に気を配り、虐待の発生予防と早期発見に努めている 「足立区の教育・保育ガイドライン」で、子どもの虐待についても学んでいる。「虐待対応マニュアル」の読み合わせも実施している。職員は日頃から子どもの様子や言動に注意を払い、いつもと違う様子が見られたり、原因不明の傷跡など不振に思われることがあれば、すぐに園長に報告することになっている。園長は理事長に報告し、子ども家庭支援センターへ報告している。子ども家庭支援センターと情報共有するケースがある場合にはケース会議に参加したり、家庭を見守ったりしている。	

サブカテゴリー6			
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直し取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー6の講評			
<p>業務に関するさまざまな手引書類を整備している</p> <p>区作成の「足立区の教育・保育の質ガイドライン」を日常保育の手引書にし、園として「食物アレルギー対応マニュアル」「衛生管理マニュアル」「怪我・事故の対応マニュアル」「散歩の安全配慮」「水遊びの安全配慮」などのマニュアルを整備している。これらのマニュアルは事務室の棚に置き、必要な時には何時でも見ることができるようにしている。「保育衛生管理マニュアル」は個人持ちにしている。そのほか、早番・遅番の仕事内容など具体的な業務の手順も作成している。</p> <p>年度末や必要に応じて随時、検討して見直している</p> <p>年度末には、手引書類の改変事項や行事の日程調整などを行うことにしているが、必要に応じて随時にも、話し合い、見直している。保育では毎月の保育計画検討会議で振り返り、翌月の計画を作成し、各行事終了後に反省会を行ない、次年度に向けて課題や改善点を確認している。毎月実施している系列3園合同のリーダー会でも課題等の検討をしている。</p> <p>保護者や職員の意見、子どもの様子などから必要な改善・見直しを進めている</p> <p>保護者アンケートを年1回実施し、運動会や発表会などの行事の後には保育ICTシステムのアンケート機能を使って感想や意見を寄せられている。職員紹介の顔写真が見づらいとの意見には、見やすい場所に貼り替えて対応している。法人系列園のリーダーが集まるリーダー会を月1～2回開催して、年間行事予定の見直し検討では入園説明会と在園児の保護者会の日程を同日にしていることについて検討したが、今年度はこれまで通りとする結論になった。その他、行事の持ち方なども検討している。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サブカテゴリー4

サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
		36/36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		
		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携を図っている	○非該当
評価項目1の講評		
<p>子どもが自分で好きなものを選んで落ち着いて遊べるような保育室環境にしている</p> <p>保育室は玩具棚などを利用して食事と遊びの場所を仕切り、落ち着いて生活したり遊んだりできるようにしている。玩具棚には子どもの発達や興味関心に合わせた玩具類を手の届く位置に置き、自分で選んで遊べるようにしている。玩具類は消毒や洗濯など衛生的に使うことができるように、多くは出さずに、子どもがよく使うものになっている。現在、0・1歳児室では木製の磁石付きの玩具や絵本がお気に入りであり、2歳児ではままごとやブロック類、3・4歳児は段ボール・空き箱製作やブロック遊び、絵描きなどを行っていることが多い。</p> <p>年下の子どもが年上の子どもを真似たり、年上の子どもが優しく接する姿が見られている</p> <p>異年齢保育を基本にし、現在は0・1歳児、2歳児、3・4歳児の保育室に分かれて生活や活動をしている。子どもの出席状況や課題などにより、2～4歳児が一緒に過ごしたり、年齢別に活動したりもしている。散歩に出掛ける時は2歳児と3・4歳児が手をつないで歩いて行く。3・4歳児はお化け屋敷作りや学校作り、お祭り遊びなどをアイデアを出し合って製作し、小さい子どもにも声掛けして一緒にお化け屋敷ごっこを楽しんでいる。年上の子どもが年下の子どもと手をつないだり、上着を着せたり玩具を貸してあげるなど、お世話をしてくれている。</p> <p>子ども同士のトラブルは子どもの気持ちを尊重して対応している</p> <p>ママ会では子どもの様子をビデオで見てもらい、子どもの年齢発達の姿も伝えて、1・2歳児の子ども同士のトラブルでは自分の気持ちを十分言葉で伝えることができないので、噛んだり引っかいたりする姿があることを説明している。トラブルが発生した時には双方の子ども気持ちを汲み取り、「～したかっただね」、「貸してって言うんだよ」、「噛んだら痛いからやめようね」などその都度知らせ、繰り返すような場合は、保育士間で連携して対応したり環境を見直したりしてトラブルを防いでいる。保護者には事実を説明して謝罪している。</p>		
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		
		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時には子どもの健康観察をして、保護者に子どもの様子を聴いている</p> <p>登園時には挨拶をして子どもの顔色や表情、機嫌などの健康観察をし、保護者に家庭での子どもの様子を聴いている。コロナ禍の現在は玄関で受け入れをしている。前日、体調を崩し気味であったり、園で擦り傷などの小さな怪我をした時など、子どもの健康状態を確認する必要がある場合は連絡ノートに記入して、早番の職員を含め職員全員が把握し、保護者に様子を詳しく聴いている。連絡ノートの他にも、職員は職員間のSNSで情報共有している。</p> <p>排せつや食事などの基本的な生活習慣は個々の発達に合わせて援助している</p> <p>子どもの発達状況に合わせて、排せつや食事が自分で行えるように援助している。排せつは排尿間隔があいてきて、トイレに興味を示して便器に座り、排尿できるようになるとトイレトレーニングを始めている。保護者にも園での様子を伝え、家庭での様子を聴き、協力してもらいながら進めている。食事では自分から食べようとする気持ちを大事にして、手づかみやスプーンですくってもらって食べたりして、次第に自分でスプーンをもって食べるようになるので、自分で食べられるようになったことを褒めながら進めている。</p> <p>迎いの保護者には一人ひとりの子どもの様子を伝えている</p> <p>保育ICTシステムの連絡帳アプリには子どもの様子を入力し、時には子どもの写真を掲載したりしているが、迎いの保護者にはその日の子どものエピソードや健康状態、連絡事項などを口頭でも伝えている。引き渡しは玄関でしている。転んで小さな傷を作ったり、子ども同士のトラブルで引っかけられたりして、園で処置をした時には状況や処置を担任や見ていた保育士が保護者の迎えを待って、丁寧に説明している。状況により、園長も同席して謝罪している。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが人と関わる力を養えるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 子どもの心身の発達が促されるよう、戸外・園外活動(外気浴を含む)を実施している	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもが自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもが自分で選んで遊び、続けて遊びたい時にはできるようにしている</p> <p>保育室には子どもの手の届く低い玩具棚に年齢発達に応じて、興味関心がある玩具や絵本を用意して、子どもが自分で選んで使えるようにしている。現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、こまめな消毒が必要であり、玩具類は多く出さずに、入れ替えたり、要望に応じて出したりしている。電車と線路、ブロック、製作物など、もって遊びたい、続けて遊びたいとの要望がある場合には、棚に置いたり、部屋の端に寄せるなどして保障し、継続した遊びができるようにしている。</p> <p>描いたり作ったり、歌ったり、演じたり、さまざまな表現遊びを楽しんでいる</p> <p>絵画や製作遊びにも取り組んでいる。評価者が訪問した1月には、玄関ホールや廊下などに鬼のお面や福笑いの作品が飾っており、2階の3・4歳児室には紙袋製で製作途中の鬼のお面や大型段ボール箱を使ったお化け屋敷製作も置いてあった。また、特別講師によるリトミックを月2回保育に取り入れて、季節の遊びや手・指を使う遊び、いろいろな楽器の音を楽しむ遊びなど、子どもたちも喜んで参加している。</p> <p>公園などへ散歩に出掛けて身体を動かし、自然に触れて遊んでいる</p> <p>地域には自然豊かな公園が数多くあるので、散歩に出掛けられる日には毎日散歩に出掛けている。公園では、走りまわったり、滑り台やブランコなどの固定遊具で遊んだり、探索活動をしたり、虫探しをしたりしている。地域にある都立公園に行くと、アスレチックで遊んだり、芝滑りをしたりしている。昆虫などの生き物も多く見かけるので、バッタなどを捕まえて図鑑で調べたり、公園の池でザリガニ釣りをしたりして、飼育も試みたりしている。近所には金魚やうさぎを飼育している方がおられるので、散歩に出掛けて見せてもらったりしている。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>七夕やクリスマスなどの季節の行事に参加し、興味・関心をもち、雰囲気を楽しんでいる</p> <p>七夕祭りやクリスマス会、節分、ひな祭りなどの季節の行事をしている。七夕の笹飾りは保護者にも協力してもらって短冊を作成し、子どもたちには七夕のお話しをして、笹飾りを持ち帰り家庭で飾ってもらっている。クリスマス会にはサンタさんが登場して、プレゼントをもらっている。節分に向けて各クラスで鬼のお面作りなどの製作活動をしたり、鬼のパンツの歌を歌ったりし、当日には新聞紙で作った豆を投げて豆まきをすることになっている。誕生日会は月1回全園児が参加して集会形式で行ない、保育士の出し物を見て楽しんでいる。</p> <p>運動会や発表会は皆で協力して作り上げ、達成感を味わう機会になっている</p> <p>運動会では幼児が運動遊びとバルーンを披露した。バルーンの練習では、取り組んでいる子どもたちはバルーンがどのように見えるのかわからない様子だったため、練習中の映像を見せると、子ども同士で「手を伸ばしたほうがいい」、「皆で気持ちを合わせて動かそう」などの意見が出て、意識してやり遂げることができた。発表会では3・4歳児は劇とハンドベルの合奏を見てもらった。ハンドベルでは振っても音が出ないで何度か試みている子どもがいると、他の子どもがその子の音が出るまで、待ち、皆で協力して演奏する様子が見られた。</p> <p>行事予定は早めに連絡して予定してもらい、子どもの取り組んでいる様子も伝えている</p> <p>保護者参加の行事は土曜日になっている。年間の行事予定は園の「保育のご案内(重要事項説明書)」で示して、予定してもらっている。保護者参加の行事であっても園児の登園はいつもと同じにしてもらい、いつも通りの子どもの様子を見てもらえるようにしている。行事の予定変更がある場合は保育ICTシステムのお知らせで発信している。発表会や運動会に向けて取り組んでいる子どもたちの様子は送迎の際に口頭で伝えたり、保育ICTシステムの連絡帳アプリで伝えて、保護者も楽しみにしてもらっている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>朝夕は0・1歳児保育室で、安心してゆったり好きな遊びをしている</p> <p>現在、園児の希望保育時間は朝8時から18時までであり、朝早くから遅くまでの利用児はいない状況である。朝の8時から8時45分までと、夕方16時45分から18時まででは0・1歳児保育室で合同保育をしている。子どもたちは保育室の玩具を使ってままごとやブロック、折り紙、絵本、粘土など自分の好きな遊びをしている。</p> <p>安全に配慮し、安心して自分の好きな遊びで楽しく過ごせるようにしている</p> <p>人数により、短時間の散歩に出掛けたり、園庭で遊んだりもしている。0～4歳児の異年齢が一緒に遊んでいるので、0歳児がいる時には、口に入れて危険な小さな玩具類は使わず、小さい子どもが帰ってから出している。0・1歳児や幼児がそれぞれ好きな遊びで満足して遊べるように、部屋を仕切り、狭いコーナーにして安心してくつろいで遊べるようにしている。</p> <p>部屋を仕切り、子どもが遊びたい遊びを保障している</p> <p>保育士は子どもたちの遊びや人数などにより、保育室内を玩具棚などで仕切り、それぞれの子どもが落ち着いて遊べるように配慮している。粘土遊びやお絵かき、パズルなど机に座って落ち着いて遊びたい幼児には保障し、身体を動かして遊びたい子どもには、マットや滑り台、ジャンピングマット、竹馬なども使って遊んでいる。</p>		
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目6の講評		
<p>子どもの発達や体格に合わせた椅子やテーブルに安定して座り、楽しく食べている</p> <p>子どもの発達に合わせて、テーブル付きの椅子や体格に合わせた椅子とテーブルを使って、安定して座り、落ち着いて食べることができるようにしている。必要な場合には背あてや足台なども使用している。保育室の中で、食事の場所を決めてテーブルを置き、各テーブルに職員が付き、子どもたちの喫食状況を見守り、「おいしいね」などと声を掛け、子どもが自分から食べようとする気持ちやその子どものペースを大事にしなが、必要に応じて介助し、ゆったりとした雰囲気の中で楽しく食べられるようにしている。</p> <p>区立保育園の2週間サイクル献立を使用し、園で手作りして提供している</p> <p>区立保育園の2週間サイクル献立を使用して、園の厨房で手作りしている。季節の食材を使用し、出汁はかつお節や昆布、鳥ガラなどで毎日とり、薄味にして素材の味を生かした給食にしている。野菜類は必ず火を通して提供している。食物アレルギー児へは、主治医による「アレルギー疾患生活管理表」などを提出してもらい、除去食対応をしている。現在、卵アレルギーの除去対応をしており、献立は卵をほとんど使わない献立であるが、かきたま汁などで使用する場合は除去している。</p> <p>野菜栽培や大根の収穫体験、食材に触れたり皮むき手伝いをしたりしている</p> <p>園庭のプランターで小松菜を栽培している。種まきをし、芽が出た葉っぱが大きくなってきたなど、水やりをしながら観察して楽しみにしていたが、害虫に食べられてしまい、結果収穫に至らなかった。地域の農家の方に子どもたちが大根掘り体験をさせてもらい、一人2本以上抜かせてもらっている。食材に触れたり、調理の下処理手伝い活動として、そら豆や枝豆などのさやむきやとうもろこしの皮むきなどを行っている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの入退所により環境に変化がある場合には、入所している子どもの不安やストレスが軽減されるよう配慮している	○非該当
評価項目7の講評		
<p>生活の場面を捉えて、病気や怪我を予防・防止できるように援助している</p> <p>年間保健計画を作成して、園児が心身ともに健やかに成長できるように援助している。3歳未満児が多いので、子どもが活発に遊ぶことができるように、安全な環境を整えている。手洗い指導は手を洗う場面で直接指導している。虫歯予防は絵本を見せて、歯の大切さを伝え、歯磨きの仕方を教えて仕上げ磨きをしている。散歩に出掛けた時には、公園では先生の見えるところで遊ぶことや危ない場所に行かないこと、危ない遊びをしないことなどを伝え、道路では道の端を歩くことやよそ見をしないことなどの道路の歩き方を知らせている。</p> <p>嘱託の園医や地域の医療機関などと連携して対応している</p> <p>嘱託の園医による定期健康診断を年2回実施して健康管理をしている。嘱託の園医には園児の健康維持に関する相談をしている。法人の看護師(理事長)が巡回して園児の健康管理や育児相談などをサポートしている。園児が園で怪我をした時などは保護者に連絡を入れて、園から受診をする場合もあるので、地域の整形外科や眼科、歯科などの医療機関にも挨拶に行くなどの関係作りをしている。</p> <p>感染症等のお知らせは玄関の白板や文書の配付、ICTシステムによる発信をしている</p> <p>子どもの定期健康診断結果などの情報は個別に伝えている。園で感染症が発生した時には園の玄関の白板に記載したり、保育ICTシステムのお知らせで発信したりしている。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のお願い、インフルエンザの予防接種の呼びかけなどの保健に関するお知らせ文書を配付している。園における昼寝時には、乳幼児突然死症候群(SIDS)の予防対策として、頭位、顔色、呼吸などの午睡チェックを実施している。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>ママ会・パパ会を開催し、保護者同士の情報交換・交流の場になっている</p> <p>保護者と園とで子育てをしていくことを大事にし、子育てにはママもパパも関わってもらいたいとの考えから、ママ会とパパ会を開催している。ママ会は年2回開催し、園での子どもの様子を動画で見てもらい、クラス毎に分かれて育児の悩み事を相談し合う場になっている。パパ会は9月頃に系列3園合同で開催し、園ごとに分かれて日常の保育の様子を動画で見てもらい、講演会などを実施し、11時頃からは、焼きそばやソーセージなどのパパ屋台を開店して、ママや子どもがやってきて一緒に食べてもらうようにしている。</p> <p>個人面談を実施して、子どもの様子を園と家庭とで共有し、悩みなども聴き取っている</p> <p>個人面談は9月から10月に期間を決めて、夕方のお迎えの時間頃に15分程度で、全員に実施している。個人面談は園長と担任とで行ない、次年度の進路について、例えば、2歳児の場合は3歳児から幼稚園への就園や他の保育所への転園を考えているのかなどを聴き取り、園での子どもの様子を伝え、家庭での様子を話してもらい、育児の悩みなども聴き取っている。</p> <p>給食参観や行事参観はマジックミラーも使用し、日常の子どもの様子を見てもらっている</p> <p>保育参観は、給食参観や運動会、発表会の参観にしている。参加の呼びかけは声掛けや保育ICTシステムの連絡帳アプリで行ない、実施後にはアンケートを実施している。給食参観は全園児がホールで食事をして、その様子を隣室のマジックミラーで見ってもらう方法で実施している。給食参観の前に子どもたちが場所に慣れるように数回、ホールでの食事を経験してから実施している。発表会も1・2歳児は隣室のマジックミラーから観てもらっている。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の方に金魚やうさぎを見せてもらい、農家の方には大根掘りをさせてもらっている 散歩先で会う地域の方がたに積極的に挨拶をしている。近隣に金魚やうさぎなどを飼育しているお家があり、散歩などで見せてもらっている。地域の農家の方に大根引きをさせてもらっている。また、農家の方がハロウインの大きなかぼちゃを持ってきて下さり、園庭において見たり触れたりして楽しんでいる。</p> <p>予定していた地域の親子も含めた親子ふれあい遊びはコロナ禍のために中止にしている 地域の親子との触れ合いも兼ねている親子ふれあい遊びを予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策により、今年は地域の参加は呼び掛けずに、園児と保護者で実施している。本年4月に開設したところであり実習生は受け入れていないが、今後は実習生の受け入れや高齢者との触れ合いを予定している。系列園では区の子育てサポーターの見学実習を受け入れている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	「お散歩ブック」を作成し、安全に楽しく散歩して運動機能や豊かな心を育てている	
内容①	地域は公園に恵まれているため、毎日のように散歩に出掛けて遊び、子どもの運動機能の発達や自然に触れて豊かな心を育てている。子どもの安全を守り、楽しく散歩ができるように、系列園3園の職員皆で実際に歩き、危険を予測して「てのひらお散歩ブック」を作り上げて散歩情報を共有している。内容は散歩時の安全管理と各公園の特徴や子どもを遊ばせるうえでの注意箇所などに加え、公園周囲や周辺の注意箇所、園から公園までの往復の道路での危険箇所なども写真入りでまとめている。公園の名称も子どもに親しみやすい通称で呼んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	家庭と保護者とで情報を共有する保育ICTシステムを導入して利便性を高めている	
内容②	家庭と園とで子どもに関する情報を共有して、「共育で」ができるように、保育ICTシステムを導入しており、連絡帳アプリでは出欠席の連絡や家庭と園とで子どもの睡眠や排せつ、食事、体調、様子を伝えあい、園での活動の様子の写真を添付している。毎月の献立表や避難訓練の予定表なども、感染症発生情報や行事のお知らせなども掲載して必要な時にいつでも見られるようにし、行事後の感想や意見は「アンケート」に記載してもらっている。保護者はスマートフォンで手軽に情報を入手、発信ができ、忙しい保護者の利便性向上に役立っている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	4-1-1	事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる
タイトル③	今年度は「ヒヤリハット」をテーマに園内研修を実施し、リスク感性を高めている	
内容③	重大事故を防ぎ、安全配慮への取り組みを運営上の重点目標の一つとしている。そのため、今年度、5月の園内研修では、「ヒヤリハット」をテーマとし、グループワークの方式を取り、当園で体験したことだけでなく、これまで保育の現場で体験したことで、ヒヤリハットした事例を挙げてもらい、その予防策について話し合い、最後に各グループで報告した。日常に潜むリスクを多く挙げることで、職員のリスク感性を高め、事故予防につなげている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	異年齢保育を基本に、一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添う保育をしている
	内容	本年4月開園し、定員30名、現員25名の少人数の保育所である。異年齢保育を基本にして、年上の子どもが年下の子どもに優しく手をつないであげたりして愛しみ、年下の子どもは年上の子どもを真似たり憧れたりしてお互いに育ち合っている。課題により年齢別の活動も保障している。職員は子ども一人ひとりの触れ合いを大事にして寄り添う保育を心掛け、全園児のことを保育者全員で把握して、アットホームな雰囲気である。利用者調査の結果、総合的な満足度は大変満足80%、満足20%で、非常に高い満足を得ている。
2	タイトル	専門の講師などによる「英語」や「リトミック」などの教育プログラムを導入している
	内容	専門講師による教育プログラム、「英語で遊ぼう」「リトミック」を1歳児から保育の一環として導入している。「英語で遊ぼう」は1・2歳の時期は言葉が出始め、少しずつ増えて言葉を獲得する時期であり、正しい英語の発音に触れさせたいとの思いから、月3回、週1回、15分程度取り入れている。「リトミック」も専門家が月2回30分、音やリズムに触れ、五感を刺激して歌ったり、リズムに合わせて身体を動かしたりしている。園の男性職員による「体操教室」も実施している。
3	タイトル	ワーク・ライフ・バランスを大切にし、母親も父親も子育てに参加してもらえるように取り組んでいる
	内容	保護者のワーク・ライフ・バランスを大切にするを法人の運営理念、園の運営方針などに盛り込み、母親も父親も子育てに参加してもらおうことを目指している。入園面接時には両親(子ども)の面接を実施している。子どもに関する情報共有のために日常の会話を大事にし、両親に使ってもらえる保育ICTシステムの連絡帳アプリを導入している。保護者会はママ会とパパ会を実施して、園の保育の考え方を伝え、子どもの様子を動画で見てもらい、母親同士、父親同士が交流できる場になっている。保護者関連行事は参加しやすいように土曜日に実施している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	個人情報の取り扱いのわかりやすい説明と同意書の作成を期待する
	内容	「保育のご案内(入園契約の重要事項説明書)」で個人情報の適正な取り扱いを説明し、入園契約書第11条において守秘義務を明記して、契約している。また、写真の取り扱いについては撮影の可否、ホームページやブログへの掲載の可否などの意向確認とともに、インターネットなどへ掲載しないという誓約書ももらっている。今後は、収集した個人情報についても、写真の誓約書のように、使用目的や具体的な使用例を示す同意書の作成を期待する。
2	タイトル	子どもの健康維持に向け、病気予防や健康管理情報の保護者への提供を期待する
	内容	園児の健康維持に向けた取り組みとして、入園時の健康診断や両親面接で子どもの健康状態や予防接種歴などを把握し、定期健康診断を実施している。園では保護者向けに新型コロナウイルス感染症対策のお願いやインフルエンザの予防接種の呼びかけなどを文書で発行している。今後は、季節ごとの健康管理やその時々での注意すべき病気などの情報も提供する等の取り組みを期待する。
3	タイトル	新型コロナウイルス収束後、安心して交流ができるようになった折には、幅広い地域の方々との交流を期待したい
	内容	散歩先で出会った地域の方に積極的に挨拶をしたり、農家の方に子どもたちが大根掘りをさせてもらったり、ハロウィンのかぼちゃをいただいたりしている。金魚やうさぎを飼育している方には見せてもらっている。今年度は新型コロナ禍のため、地域の親子を交えた親子ふれあい遊びは中止している。今後、新型コロナウイルス収束後、安心して交流ができる状況になった折には、幅広い地域の方々との交流の機会を期待したい。



